



同窓会会長

山下 豊

ご挨拶

同窓生の皆様にはお健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

日頃より母校勝山高校と同窓会に対しご支援、ご厚情を賜っておりますことに心から感謝申し上げます。

今年は西日本豪雨災害を始め各地で地震や台風など自然災害が頻発しました。改めて災害によりお亡くなりになった方々のご冥福と被災された皆様の日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

災害が少ないことが売りの岡山県も、この度の豪雨では旧真備町などを中心に大変な被害を蒙りました。ただこの真庭は被害が比較的少なく、とくに人身事故が一件も無かったのは不幸中の幸いでした。同窓生や関係の皆様の中にも被災された方がいらっしゃるかもしれません。重ねてお見舞い申し上げます。

さてここ数年毎号定員割れの問題について書いてきましたが、この春勝山高校は久しぶりに定員一杯の新生を迎えることができました。これは校長先生始め教職員の皆様、在校生の日頃の頑張りを地域の方々から評価して頂いたということは勿論ですが、同窓生の皆様が地元始め各地で活躍されていることが大きな力になったものと存じます。是非この流れが定着していけばと念じております。

しかし、一方では平成29年度真庭市内の新生児出生者数がついに300人をきるという現実があります。このままですと遠からず市内の高校の再々編ということになるのではと危惧しております。勝山高校が勝山高校のままで存続することは同窓生全員の切なる願いです。

今春神田校長が定年で退任されました。後任の影山校長を中心に教職員、生徒一丸となって勝高の存在感を高めるために更に頑張ってもらえるものと確信いたしております。私達地元の同窓生もしっかり勝山高校を応援していきますので、引き続き皆様の物心両面のご支援をお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、同窓生の皆様の益々のご健勝ご多幸をお祈り申し上げご挨拶といたします。



校長

影山 勝己

ごあいさつ

5年間校長を務めました神田前校長が昨年度末に定年退職され、後任としてこの4月に着任しました。私は、平成14年から5年間数学の教員として勝山高校でお世話になりました。当時は普通科学区を拡げ美作地域全体が1つの学区となった直後で、学校の特色を生かして魅力化をいかに図っていくかが最大の課題でした。皆様のお力をお借りし、文部科学省指定の「学力向上フロンティアハイスクール事業」などに取り組んだことが懐かし思い出されます。それから11年経ちましたが学校の様子は当時と変わらず、生徒たちは落ち着いて勉強や部活動などに一生懸命に取り組んでいます。これも保護者や同窓生をはじめ地域の方々の勝山高校に対する変わらないご支援のお蔭と感謝いたしております。

しかし、11年の間には学校の内外でいろいろな出来事がありました。まず平成23年には記念すべき創立100周年記念式が盛大に挙行されました。関連事業として、皆様からのご援助によって塀や中庭の整備などを進めることができました。また、伝統ある商業科がビジネス科と科名変更し、これからの社会で求められる新たなビジネス教育に取り組んでいます。

一方、学校の外では少子化がさらに進み、真庭地域に4つあった高校（勝山・落合・久世・蒜山）が勝山高校（勝山・蒜山）と真庭高校（落合・久世）の2校4校地体制になり、現在に至っています。そうした中、勝山高校では「高校段階から教員を目指す人材の育成」をテーマとして「おかやま創生 高校パワーアップ事業」に取り組んできました。地域の方々に支えられた3年間の研究で、生徒たちの自己マネジメント力・プレゼンテーション能力・人間関係づくりの能力の向上など、高い評価をいただいています。将来、地域を支える人材として大きく育っていくことを期待しています。

部活動についても、水泳がインターハイに出場したり、硬式野球部が秋の県高校野球大会に12年ぶりに出場し、46年ぶりの1勝を挙げたりと大活躍をしています。硬式野球部については、創部からの実績や様々な活動が評価されて来春の選抜高校野球大会の「21世紀枠」県推薦校に選ばれました。全国で3校という狭き門ではありますが、今は期待を込めて待っています。

勝山高校の良き伝統である「文武両道」の精神を大切にし、生徒一人一人がしっかりと活躍する学校づくりを進めて、地域に信頼される勝高であり続ける所存でございます。

同窓会の皆様には、今後とも母校への深いご理解と温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

活躍する卒業生



Keiji Ueki

植木 啓司

高27回生(昭和51年卒)
ひるぜんワイン有限会社
代表取締役

勝高の思い出と言え、なんとと言っても寮生活です。現在の男子寮の第1期生として、厳しい上下関係の中で生活しました。苦しい事も多々ありましたが、男同士の絆が深まり、寮の間で行った小豆島旅行が印象に残っています。

玉川大学農学部卒業後、大学職員として2年勤務、その後地元蒜山に帰り、JAでヤマブドウと出会いました。それ以来ヤマブドウの栽培、ワインの醸造、そして販売に携わっています。それぞれの場面でたくさんの苦労がありましたが、特にヤマブドウ研究の為岡山大学大学院に通った43歳からの3年半の日々で、人生のエネルギーの大半を使った気がしました。そして多くの方の協力を得て試行錯誤を重ね、ついに2015年ジャパンワインチャレンジで「山葡萄・ロゼ」が金賞を受賞することが出来ました。

2010年にオープンした「ひるぜんワイナリー」では、ヤマブドウ圃場や工場の見学が出来、試飲販売も行っています。また地元食材にこだわったランチプレートやガレット等の食事も出来ます。蒜山の風を感じながら、ゆったりとした上質の時間を過ごしていただけたらと思います。

ヤマブドウの栽培を始めて37年になりますが、勝山高校の同窓生の方をはじめ多くの方にお世話になり、深く感謝しています。これからもヤマブドウの可能性を追求し、ワイン造りを通じて少しでも地域に貢献できればと考えています。

私が勝山高校に入学したのは、ちょうど平成が始まった年でした。当時は普通科が4クラス、商業科が2クラス。帰宅部はつまらないと考え、タイプ・ワープロ部に入部し、毎日英文タイプライターを打っていました。

2年生になり理系に進みましたが、数学のM先生の影響で、理系は20人程しかいませんでした。でもそのおかげで、授業中もごちんまり和気あいあいとした雰囲気だったのを覚えています。

卒業後は、旧香川医大(現在は統合されて香川大学医学部)に進学し、6年間の学生生活を送った後、岡山大学第3内科に入局。岡山、倉敷市内の病院に勤務し、結婚、出産を経て、平成17年に真庭に戻りました。

以前は若い方を診る事が多かったのですが、今は赤ちゃんからお年寄りまでいろんな方を診ています。中でも高齢の方が多く、お元気な方が多く、おしゃべりしながらこちらが元気をもらっている状況です。患者さんそれぞれの生活環境を考え、治療を考えていくように心がけて仕事をしています。

私の同級生には他にも2人、医学の道に進んだ人がいます。1人は岡山大学で内科医として、1人は地元で歯科医として働いています。2人とも女性ですが、彼女達の活躍を耳にすると、私も頑張らないかという思いが湧いてきます。

近年、地方では医療、介護の世界とも人手不足となっています。勝山高校の後輩が医療の世界に飛び込んで、地元で頑張ってくれないかなと切に願う、今日この頃です。



Miho Miyashima

宮島 美穂

高43回生(平成4年卒)
宮島医院
副院長

同窓会役員

役名	氏名	卒期	役名	氏名	卒期	役名	氏名	卒期
顧問	中島 道夫	中15	監事	加納 容子	高17	勝山支部長	結家 恭一	高13
顧問	近藤 正美	中19	会計事務長	田中 健一		大佐支部長	金平 敏数	高13
会長	山下 豊	高20	東京支部長	畑 博道	高21	中和支部長	由井 堅史	高30
副会長	松浦 征護	高14	岡山支部長	内山 満義	高22	美甘支部長	池田 文治	高20
副会長	秋元美知子	高17	関西支部長	木村 康雄	高17	新庄支部長	坂本 茂樹	高27
副会長	太田 詳子	高17	津山支部長	長谷川道和	高5	八東支部長	小谷 仁志	高30
副会長	三船 昌行	高17	鳥取支部長	山藤 輝彦	高3	久世支部長	石村 修	高30
副会長	岡田 健	高21	島根支部長			月田支部長	土井 政男	高17
副会長校長	影山 勝己		川上支部長	徳山 周一	高25	富原支部長	久重 俊正	高8
監事	近藤 英幸	高19	落合支部長	道満 祥雄	高19	湯原支部長	山谷 逸士	高16

同窓会だより

本部総会・懇親会報告 大西 理恵 高38回(昭和62年卒)

「繋がり」

地元にいるなら幹事の声はかかるのだろうか…。漠然と抱いていた不安が現実のものとなったのは、次年度幹事として懇親会に参加させていただいた一年前のあの日でした。こんなに盛大な会が自分たちの手でできるのだろうか、いや、やらなければならない、不安と焦りの中、幹事としての一年が始まりました。

まずは、幹事となって一緒に会を作ってくれる同級生への声かけ、友達が友達を呼び、立ち上げの会には、20名を超える有志が集まりました。「久しぶり!」「こっちにおったん?」「今なにしてるん?」「高校の時には話したことなかったよねえ」。成長と共に大きな変化を遂げてしまった容貌に当時の記憶をたどりながらの近況報告も、なかなか楽しいものでした。

さて、いよいよ懇親会に向けて会計、アトラクション、総務とそれらをまとめる代表幹事、副幹事が決まり、同窓会実行委員会として起動、月に1度の集まりだった冬が終わり、春からは部活のような練習と生徒会のような会議で「じゃあ、また明日」と言って別れることも増えてきました。



それと共に、ゴールは近い!! もうちょっと、もうちょっとと励まし合いながらの日々…。仕事、家事、育児に介護、中年が抱えている様々なものの隙間をぬってはゴールに向かって突っ走ってきました。

懇親会には、市長太田昇様をはじめとする来賓の皆様39名、同級生76名、総勢100名を超える盛会となりました。オープニングでは和太鼓演奏、そして、バブル世代の誰もが知っているダンシングヒーローが会を盛り上げました。何よりも、久しぶりに会う友達、先生方とは、名札に印刷された卒業当時の写真を手がかりに、時間を忘れ、時を越えて高校時代を語り合い、平成最後の夏に繋がりを深めることができました。

総会の挨拶に、子どもの数が年々減っていく中、地元真庭を支える母校勝山高校を、行きたい学校学びたい学校として、子どもが選ぶ高校となっていけるよう同窓生が力を合わせて支えていきたいというお話がありました。ここで再会を果たした私たちが、また、新たな繋がりとなり、母校を、そして、ふるさと真庭を支えていけたらと感じています。

最後になりましたが、この会を開催するにあたり、支えてくださった皆様に、同窓生一同よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

この度の同窓会でいただきました西日本豪雨災害の義援金2万円は、社会福祉協議会を通じて被災者の皆様に寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。



平成31年度本部総会のお知らせ

来年度の当番幹事は、昭和63年3月卒業の皆様方です。ご協力よろしくお祈いします。

日時 2019年8月11日(日) 11時より

場所 勝山高校同窓会館

懇親会 12時より 会場 勝山文化センター

東京支部総会・懇親会報告 井上 光一 高33回(昭和57年卒)

6月16日(土) 勝山高等学校同窓会東京支部総会・懇親会を今年も『とっとり・おかやま新橋2階』のイベントスペースにて開催いたしました。当日は本部役員の山下豊同窓会会長、母校から影山勝己新学校長と前田先生が遠路ご臨席くださいました。

この1年で亡くなられた方のご冥福をお祈りした後、二宮真理子様(昭和48年卒)の司会で総会に入りました。

影山学校長の祝辞を賜り、苦田顧問(昭和27年卒)の乾杯の音頭で懇親会がスタートしました。

ふるさとのおいしいお酒や料理とともに参加者はそれぞれの楽しい思い出話や近況報告に華を咲かせて、大先輩の梅林豊様(昭和20年卒)の戦時下のご体験やいつもの楽しいお話、また今年も小間繁子様(昭和35年卒)の詩吟が披露され、岡田忠明様(昭和31年卒)には民謡下津井節を唄っていただき、あっという間の3時間が過ぎました。

前田先生からは学校の近況などもいただき、そのあと参加者全員で校歌を歌いました。最後に松田顧問(昭和28年卒)の締めの



お言葉をいただき、皆様の健康と来年の再開を約束して閉会いたしました。

今年は今春、東京の大学へ入学されたフレッシュな卒業生、西本岳様と岡本宙様(平成30年卒)の2名が参加してくれました。初めて参加された方も数名いらっしゃり、来年度以降裾野を広げて多くの方に参加いただける会にしていけたらと思っております。

関西支部総会・親睦会報告 中 広江 高36回(昭和60年卒)

第62回勝山高等学校同窓会関西支部総会が、5月20日(日)、新大阪ワシントンプラザに於いて開催されました。

今年度は昭和56年卒の福富茂樹氏に司会進行をしていただき、まず、この1年間で亡くなられた方への黙祷を捧げました。木村支部長(S41卒)から開会の挨拶があり、山下豊同窓会会長(S44卒)、園田哲郎副校長、岡山県大阪事務所長の梶谷隆行氏よりご祝辞をいただきました。また、松尾幸恵教諭(S57卒)からは、在校生の様子などを紹介していただきました。

生徒数が減少し高等学校の統廃合が進む中、勝山高校は変化することなく維持され、今年度は定員を満了することができたとの嬉しい報告をいただきました。生徒の自律性が高く、充実した学生生活を送れることが大きな魅力となっているのではないかと思います。非常に頼もしい限りです。



続いて議事へと進み、総会は滞りなく無事終了しました。

親睦会の目玉は、ビンゴゲームです。1等賞の景品は、新大

阪ワシントンプラザのペアお食事券。そして、落合の羊羹、勝山のお酒、湯原のカステラなど懐かし



く嬉しいものなどが景品として並び、大変盛り上がりしました。終盤には、山本一幸氏(S40卒)と福富茂樹氏(S56卒)、西田智全氏(S57卒)より、勝高への力強いエールいただきました。学生服に腕章、はちまきをまとい、実年齢を思わせない激しい動きと響き渡る声で、他の参加者に息切れを心配されながらもではありますが、母校への愛にあふれたものでした。最後に校歌を合唱、来年の総会(2019年5月26日(日))で会うことを約束し閉会しました。

木村支部長をはじめ、役員、お手伝いくださる方々による同窓会の運営には非常に感謝しております。

今後ますます同窓会が発展することをお祈りいたします。

湯原支部総会・懇親会報告 副支部長 横辺 由江 高34回(昭和58年卒)

6月22日(金)、「湯快感・花やしき」にて第8回湯原支部総会、懇親会を2年ぶりに開催しました。参加者は19名と少なかったのですが、年長者から若者までわきあいあいと、楽しいひとときを過ごしました。

総会では山谷支部長の挨拶の後、議事に入り、事業報告・決算・事業計画・予算等、高橋副支部長(S40卒)の進行でスムーズに運びました。

今年度は役員改選の年となり、山谷支部長(S40卒)、美甘政志副支部長(S41卒)が留任され、新たに私が副支部長を仰せつかりました。若輩者ですが精一杯頑張りたいと思います。

記念撮影の後、全員で校歌を合唱し、懇親会にうつりました。

影山勝己校長、三船昌行勝山高校同窓会副会長(S40卒)。校内幹事の松尾幸恵先生(S57卒)、前田竜一先生(H元卒)からもご挨拶をいただきました。

最後に、私事ではありますが、ちょうど2年前に大病を患い、もう元氣になれないかと思っておりましたがおかげさまで皆さんにまた



会えることができました。

「今日あることが、明日も必ずあたり前にあるとは限らない」会いたい人には、会えるときに会っておきましょう。

次回同窓会まで健康で、一人でも多くの方と再会できることを願い散会しました。



修学旅行

6月5日(火)～8日(金)の4日間、2年生156名は国内110名、海外46名の2コースに分かれて修学旅行に行ってきた。

修学旅行では、国内コースは、「実地見学を通じて、広い視野や社会性を身につけ、進路決定の参考にすること」を目的としました。初日は、ディズニーリゾートを満喫しました。2日目は、それぞれの進路希望や興味関心に従って4コースに分かれてコース別研修を行い、夜は、プロ野球観戦・ルミネtheよしもと・歌舞伎座・浅草演芸場の4コースから希望するものに参加し、楽しみました。3日目は、各班が事前に立てた計画を元に班別自主研修を行いました。最終日は、横浜中華街で自主研修を行い、帰途に就きました。

海外コースは、「他文化に触れ国際的視野を身につけ、積極的に英語コミュニケーションをはかる」ことを目的としました。初日は、マライオン公園に行き、マリナーベイサンズの「光と水のシンフォニー」を見学しました。2日目は、マレーシアに入学し、午前中は現地の学校で交流を行い、午後は日系企業を訪問し、講話を聞きました。宿泊はホテルとホームステイに分かれ、ホームステイは現地の各家庭に分かれて宿泊しました。3日目は、シンガポールに戻り、午前中は、現地大学生と班別自主研修を行い、午後からはセントーサ島を満喫しました。夜はナイトサファリを見学後、チャンギ国際空港に移動し、帰国の途に就きました。



学校行事



9月5日(水)～7日(金)に『謳歌爛漫～此処に青春の喝采を～』というスローガンを掲げ、第19回鼓山祭が開催されました。

文化の部1日目には、各団による演劇・ダンスが行われました。生徒たちは限られた準備期間の中で、様々な工夫を凝らして演出を考え、堂々と舞台発表をしていました。文化の部2日目には、有志によるバンド演奏などのステージ発表、書道部と美術部による中庭でのパフォーマンス、吹奏楽部による演奏がありました。普段の活動の成果を十分に発揮し、華やかに盛り上げてくれました。また、2日間通して行われた展示では、時間帯によって展示内容を変更したり、木材を活用して会場を作ったりと、こちらも工夫がたくさん見られました。また、体育館には生徒会執行部の生徒を中心に巨大スクリーンを設置し紹介動画を流しました。昨年度からの良い点はしっかり引き継ぐことができました。さらに、今年度の新しい取り組みとして、鼓山祭実行委員を中心に全校制作に取り組みました。全校生徒の手形を取り、大きな1枚の校章を制作し体育館に掲示することで、大いに盛り上がりました。

第19回 鼓山祭

体育の部では、台風による雨の心配がありましたが、無事に実施できました。最終種目まで優勝が分からない迫力ある熱戦を繰り広げてくれました。赤・青・黄の各団による新しい形式の応援合戦や3年生によるフォークダンス、PTA・O・B・OGの方も競技に参加していただき、魅力あふれる体育祭になりました。この3日間で生徒は様々な場面で成長した姿が見られました。準備期間中には仲間同士で意見をぶつけ合いながら、自分たちで鼓山祭を盛り上げたい、良いものを作りたいという熱い思いを存分に見せつけてくれました。勝高生らしさが溢れる素晴らしい鼓山祭であったと思います。



活躍する部活動

陸上競技部

勝山高校陸上競技部は、現在男子3名、女子11名、マネージャー5名の計19名で活動しており、「中国大会出場」を目標にお互いに良きライバルとして切磋琢磨しながら、日々練習に励んでいます。普段の活動ではメリハリをつけて練習することを考えています。常に本番のレースを見据えて、ここぞという時に力が発揮できるようにリラックスと集中の切り替えを意識して取り組んでいます。

私たち陸上競技部の特長は団結力の高さです。

練習中や練習以外の時でも、先輩後輩関係なく積極的にコミュニケーションを図り、チームの輪を大切にしています。また、大会の時は出場選手の応援を全力で行い、チームが一致団結するように心がけています。

今年は多くの1年生が入部し、一段と活発に活動することができており、勝山高校陸上競技部は更に成長していくと思います。

私たちの活動は、保護者や地域の方々のご支援によって成り立っています。応援してくださっている方々への感謝の気持ちを忘れず、活動していきたいと思っています。

今後ともご支援ご指導の程よろしくお願いたします。

勝山高校陸上競技部 部長 小野田 結衣



平成30年度 部活動 主な成績

運動部

■ 軟式野球部

第57回岡山県高等学校総合体育大会 出場

■ 硬式野球部

第100回全国高等学校野球選手権記念岡山大会
1回戦 4-5 (延長11回) 東岡山工業
「優秀応援団賞」受賞
平成30年度秋季岡山県高等学校野球大会
1回戦 8-7 (延長10回) 興譲館
2回戦 0-9 (7回コールド) 明誠学院
県ベスト16
第91回選抜高等学校野球選手権大会
「21世紀枠岡山県推薦校」選出

■ 陸上競技部

第66回岡山県高等学校新人陸上競技大会
今石 夏歩 400mハードル 8位
第57回岡山県高等学校総合体育大会
女子4×100mリレー 準決勝進出 (ベスト16)
(住田、片岡、今石、松尾)

■ 女子バレーボール部

平成30年度美作地区高等学校
春季バレーボール選手権大会 優勝
第65回美作地区高等学校
総合体育大会 第4位

■ バドミントン部

第57回岡山県高等学校総合体育大会
バドミントン競技会
男子団体ベスト16 女子団体出場

■ 水泳競技

第57回岡山県高等学校総合体育大会
西 祐太郎
男子100mバタフライ 第2位 (58.93)
男子200mバタフライ 第2位 (2:10.12)
菱川 悠希
男子200m個人メドレー 第2位 (2:07.89)
男子400m個人メドレー 第2位 (4:32.98)
原田 大地
男子200m背泳ぎ 第3位 (2:13.78)
第66回中国高等学校選手権水泳競技大会
菱川 悠希
男子200m個人メドレー 第2位 (2:07.94)
男子400m個人メドレー 第2位 (4:31.66)

原田 大地

男子200m背泳ぎ 第6位 (2:13.09)

平成30年度全国高等学校総合体育大会
水泳競技大会

菱川 悠希

男子200m個人メドレー 出場

男子400m個人メドレー 出場

文化部

■ 美術部

平成30年度高校生美術コンクール
ポスター部門 銀賞 1年 山根 悠
構想画部門 金賞 3年 森本 夢望
平成30年高校生芸術フェスティバルポスター
特選 3年 坂元 美有利

■ 書道部

第34回成田山全国競書大会
特選・月輪賞 3年 徳永ゆうか
四国大学第47回全国高校書道展
特選 横山和佳奈

■ 吹奏楽部

第59回岡山県吹奏楽コンクール
高等学校A部門 銀賞

平成30年度 創立記念日講演会 開催報告

講師 樋口 雅夫 氏 玉川大学教育学部教育学科教授
(高39回生 昭和63年卒)

10月5日(金)、本校体育館にて創立記念日講演会が行われました。講師に文部科学省の在職経験のある樋口 雅夫氏をお招きし、「私たちが拓く日本の未来・勝高の未来」という演題で御講演をいただきました。文化財センター・高校教諭・文部科学省教育課程調査官など幅広い経験をお持ちの先輩にお話しいただき、大変貴重な機会となりました。講演では、御自身の経験をもとに主権者として意見をしっかり持つことや、自分自身が社会を変えることができることなどをお聞かせいただきました。生徒の感想には、「新しいことだけが大切じゃなくて、それについて考え、問題点やよい点などを見つけ、さらに考えて自分の意見や根拠を見つけていくことが大切だと思った。」、「私たちが今後どうするかで日本の将来のあり方が変わり、自分一人の小さな願望でも正しい考えであれば何か変わるかも知れないことがわかった。」という声が聞かれました。講演会の目的である「講演を聴くことで、高い志を持ち自ら課題を解決しようとする人材を育成する。」にまさにふさわしく、生徒の心に響く御講演をいただけたと思います。

樋口雅夫氏のプロフィール

- ・昭和63(1988)年勝山高等学校を卒業の後、広島大学教育学部、同教育学研究科博士課程前期修了。
- ・平成6(1994)年より岡山県古代吉備文化財センター、高等学校教諭、大学講師として勤務。
- ・平成23(2011)年より、国立教育政策研究所教育課程研究センター教育課程調査官並びに文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官として7年間勤務し、主権者教育副教材「私たちが拓く日本の未来ー有権者として求められる力を身に付けるためにー」を編集した。また、公民科の必修教科目「公共」の新設に携わった。平成30(2018)年より玉川大学教育学部教育学科教授として勤務している。



地域で活躍するビジネス科

ビジネス科では地域の方の、力もお借りして学習し、卒業後は真庭地域を支える人材になるように頑張っており取り組んでいます。3年生では、町並み保存地区で開催される「クラフト市」に毎年参加しています。この活動を通して地域と連携し、幅広い体験をすることによって、視野を広げ、思考を深め、社会人基礎力を身に付けることが目標です。今年は「クラフト市」で販売する商品を、四月から計画を立て、業者に依頼して製造していただき、販売が出来るかどうかを検討してきました。最終的に特産品であるキヨミドリのラスクと蒜山焼きそば親子パン、そして、湯原の土居分小葉を使用したピザが新商品になりました。商品化まで、プロの方とたびたび打ち合わせをする中で経験した、課題解決の取り組みは、生徒にとって大きな財産になったと思います。また、1年生は「勝山もみじ祭り」で販売実習とソーラン踊りに参加し、2年生はインターンシップ実習や神庭荘を訪問し、お年寄りの方に大変喜んで頂くことができました。

このような活動を通して、地域との連携を今後も継続していきたいと思っています。また、ビジネスマナーや資格取得にも力を入れており、簿記や情報処理などの検定資格を数多く取得しています。同窓会の皆様にご子息、お孫さんがおられましたら、是非とも、勝山高校ビジネス科を薦めていただきますよう、宜しくお願いいたします。

会計報告

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減(△)	摘要
繰越金	627,006	627,006	0	平成28年度からの繰越金
生徒入会金	785,000	750,000	△ 35,000	生徒入会金5,000円×150名
雑収入	994	4,521	3,527	当番幹事等寄付・預金利息等
合計	1,413,000	1,381,527	△ 31,473	

支出の部

(単位：円)

科目	当初予算額	流用額	予算現額	支出済額	残額	摘要
広告費	50,000	4,000	54,000	54,000	0	同窓会本部総会広報用
旅費	180,000	0	180,000	96,715	83,285	支部総会出席旅費等
会議費	100,000	0	100,000	42,000	58,000	支部会議費
慶弔費	40,000	0	40,000	0	40,000	役員等慶弔費
通信費	30,000	0	30,000	14,070	15,930	郵送料
助成費	250,000	0	250,000	161,700	88,300	各支部助成金
需用費	100,000	0	100,000	79,373	20,627	消耗品購入費等
予備費	663,000	△ 4,000	659,000	0	659,000	
合計	1,413,000	0	1,413,000	447,858	965,142	

収入済額 1,381,527 - 支出済額 447,858 = 残額 933,669 (平成30年度へ繰越)

平成29年度
同窓会会計決算書

収入の部

(単位：円)

科目	予算額	収入済額	比較増減(△)	摘要
繰越金	1,547,923	1,547,923	0	前年度からの繰越金
賛助金	2,322,000	2,068,000	-254,000	790件
雑収入	77	0	-77	
合計	3,870,000	3,615,923	-254,077	

支出の部

(単位：円)

科目	予算額	流用額	予算現額	支出済額	残額	摘要
賛助金振込手数料	104,000	0	104,000	95,000	9,000	
会報発行費	1,545,000	12,000	1,557,000	1,534,848	22,152	
口座振込手数料	1,000	0	1,000	648	352	
予備費	2,220,000	△ 12,000	2,208,000	17,883	2,190,117	
合計	3,870,000	0	3,870,000	1,648,379	2,221,621	

収入済額 3,615,923 - 支出済額 1,648,379 = 残額 1,967,544 (平成30年度へ繰越)

平成29年度
同窓会会報会計決算書

上記のように、このたびも会報に多額の協賛金を頂戴しました。皆様のご温情に心より感謝いたしております。賛助金のおかげで今回もページ増で、活字も大きくした形でお届けすることができました。年に一度の会報ではありますが、今後とも変わらぬご理解・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



1年「もみじ祭り」



2年「神庭荘訪問」

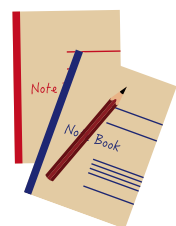


3年「課題研究・商品開発」

進学実績

《平成29年度3月合格者状況》※()は既卒で内数

学校名	合格数	学校名	合格数	学校名	合格数	学校名	合格数
信州大	1(1)	大阪国際大	1	私立 安田女子大	1	西日本調理	1
島根大	7	大阪電気通信大	1	松山大	1	関西美容専門学校	1
岡山大	4	大谷大	1	徳島文理大	3	神戸ベルエール美容	1
山口大	2	龍谷大	1	私立大学合計	74(1)	神戸元町医療秘書	1
徳島大	1	関西大	1	公立 島根県立短	1	大阪医療秘書福祉	1
愛媛大	3	関西学院大	1(1)	公立 新見公立短	3	大阪調理製菓	1
高知大	1	近畿大	2	公立短大合計	4	大阪テーマパークダンス	1
熊本大	1	大阪成蹊大	1	私立 大阪国際短大	1	大阪リゾート&スポーツ	2
国立大学合計	20(1)	阪南大	1	関西短大	2	広島リゾート&スポーツ	1
公立小松大	1	関西福祉科学大	1	川崎医療短大	1	松江栄養調理製菓	1
岡山県立大	1	流通科学大	1	作陽音楽短大	1	岡山県農業大	1
県立広島大	1	神戸学院大	2	美作短大	5	大原簿記専門学校	1
山口県立大	1	神戸女子大	1	私立短大合計	11	専門学校等合計	39
高知県立大	1	神戸医療福祉大	1	岡山情報ビジネス学院	5		
公立大学合計	5	奈良大	3	岡山医療技術専門	4		
青山学院大	1	岡山理科大	8	岡山ビジネスカレッジ	5		
明治学院大	1	岡山商科大	3	岡山理容美容	1		
創価大	2	山陽学園大	3	岡山建設医療福祉専門学校	1		
愛知学院大	1	山陽学園大	3	専門学校ピーマックス	3		
愛知工大	1	就実大	5	旭川荘厚生専門学校	1		
同志社大	1	清心女子大	3	倉敷中央看護	1		
京都産業大	1	川崎医療福祉大	1	朝日医療大	3		
京都女子大	1	倉敷芸術科学大	1	玉野総合医療	1		
京都産業大	1	美作大	4	川崎リハビリテーション	1		
京都女子大	1	吉備国際大	1				
大阪経済大	2	環太平洋大	1				
大阪工業大	2	広島国際大	1				
大阪商業大	1	広島工業大	2				
		福山大	3				



就職実績

就職事業所
岡山県小中事務職員
西日本旅客鉄道株式会社
日本郵便株式会社 中国支社
銘建工業株式会社
株式会社 中電工
岡山県貨物運送 株式会社
三栄源エフ・エフ・アイ株式会社
東真産業 株式会社
津山信用金庫
福山通運 株式会社
社会福祉法人恵神会
株式会社 モンテール
ミック工業 株式会社
エスアンドエスプロダクツ株式会社
株式会社 大成測量
西谷会計事務所



事務局だより

維持会費納入のお願い

このたび、同窓会報第50号を発行することができました。同窓会として、このような会報誌を会員の皆様にお届けすることで、母校を懐かしんでいただき、更には母校の発展、会員の親睦に繋がればと考えております。そこで、同窓会活動の活性化、より内容の充実した会報を皆様にお届けする為に、会員の皆様に維持会費2,000円(平成30年分)のご協力のお願いを申し上げます。

封筒内に振込み用紙を同封しておりますので、お近くのコンビニ、または郵便局からご入金していただきますようお願い申し上げます。

より充実した同窓会の運営、母校発展、会員の親睦の為に、ご理解いただけますよう宜しくお願い申し上げます。



同窓会を開催しませんか？

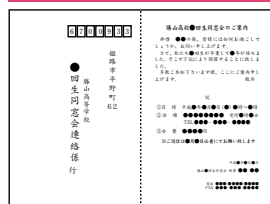
「学年同窓会を開きたいな〜」「最近みんな会ってないな〜」「クラブOB会を開きたいな〜」といったお声にお応えし、同窓会が各種同窓会開催を応援いたします。(有料)

対象者 同窓会員(現旧職員含む)に限ります。

内容

- ①宛名タックシールの作成
- ②同窓会開催の案内ハガキ(右見本)の作成(往復ハガキ含む)
- ※出欠の集計、会費の入金管理も行うことが可能です。
- ※個人情報の管理のため住所データの提供は行いません。

案内はがき見本



往復はがき

編集後記

今年度は7月の豪雨など、災害の多い年でした。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、11月9日、岡山県高等学校野球連盟及び毎日新聞社より第91回選抜高校野球大会の21世紀枠岡山県推薦校に本校が選ばれるという報告が届きました。まずは12月14日に中国地区での選考があり、そして、平成31年1月25日に最終結果がです。本校はもちろん、県北からの甲子園出場はいまだ達成できておらず、選出されますと岡山県北から初出場となります。同窓生・地域の方々に喜ばしいニュースをお伝えできるよう心待ちにしております。